

# 地産地消について

長野県長野工業高等学校

機械工学科 北沢友一 富永小雪

# テーマ設定の理由

- テレビや新聞で地産地消を知り、興味を持ったから。

地産地消とは、

- 地元で作られた農産物などを、地元で消費すること。



# 地産地消の現状



- 直売場などでの販売
- 学校給食などへの供給
- 農産物などの加工品の販売
- あまり普及していない

# 地産地消のメリット

## 〈消費者〉

- 生産者がわかるので安心できる。
- 旬の農産物を、新鮮なうちに手に入れられる。

## 〈生産者〉

- 規格外の農産物も販売することができる。
- 流通コストの削減。
- 消費者のニーズを把握しやすい。
- 廃棄が減る。

# 地産地消の問題点

- 生産者は販売や品質管理、宣伝活動などの生産以外の労力がかかる。
- 生産体制が整っていない場合が多いので、大量生産ができない。
- 大量生産ができないので、海外からの輸入品よりも値段が上がってしまう。
- 消費者は、わざわざ地元のものを買う必要がない。

# 地産地消の課題

- 生産者の負担が大きい。
- 消費者のメリットが少ない。
- 安定した供給ができない。

# 10代からの提言①

## 生産者の負担を減らす

- 生産者と地元のスーパーなどが協力し、スーパーで地元の農産物を販売するコーナーを作り、販売などをスーパーに任せるなどの取り組みをしたらいいと思います。

## 10代からの提言②

### 消費者のメリットを増やす

- 地元の農産物を購入するとポイントが貯まるなど、消費者が、地元のものを買いたいと思うような取り組みをしたらいいと思います。



# 10代からの提言③

## 大量生産を可能にする

- 県や市は、トラクターやコンバインなどの大型機械の貸し出しなど、生産者が大量生産できる環境づくりをしたらいいと思います。

# 考察・感想

- 今までは地産地消のメリットしか知らなかったのので、なぜ普及しないのかわからなかったが、今回の学習でデメリットも知ることができ、まだまだ普及には課題が多くあることが分かった。自分でも地元のものを買うように心がけようと思う。
- 地産地消を知らなかったから、地産地消を知るきっかけになって良かった。買い物をするときに地元の野菜を見てみようと思った。

終

引用元 <https://www.google.co.jp/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=web&cd=&cad=rja&uact=8&ved=2ahUKEwikldClq-bxAhXbSPUHHbE7CRsQFjAAegQICBAD&url=https%3A%2F%2Fwww.maff.go.jp%2F&usg=AOvVaw2omXm0o07uWLTbBts77XWB>